

新人バドミントン大会要項

- 1 大会名 第37回筑前地区中学校新人バドミントン大会
- 2 期 日 令和2年11月7日(土) 開館 9:00
監督者会議 9:30 マナーチェック 9:50 試合開始 10:10
- 3 会 場 筑紫野市農業者トレーニングセンター (筑紫野市諸田172 TEL:092-923-6290)
- 4 参加制限 ○団体戦……各校1チームの参加とする。
(2複1単) ※単と複を兼ねることはできない。
(登録は、監督1名、コーチ1名、選手5~8名とする。)
- 5 競技方法 トーナメント方式とする。初回戦のみ3試合行い、2回戦以降は、2点先取法とする。
(シード校が初回戦の場合は、3試合全て行う)
- 6 競技規則 令和2年度日本バドミントン協会競技規則および福岡県中学校バドミントン大会競技規則に準ずる。
- 7 申し合わせ事項 (1) 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、筑前地区中体連に登録し承認を受けたものとする。
(2) 競技使用球は日本バドミントン協会2種検定合格水鳥球を使用する。 30cm
(ヨネックスのエアロセンサ700の③番) 6~10cm

学 校 名
姓

(3) ゼッケンを背部につける。(図参照、4カ所止めとする) 6~10cm
(4) ソックスは白を基調とし、くるぶしが完全に隠れるものを使用する。
(5) ユニフォームは検定合格品に限る。
(ウェアは単シャツは不可とし、パンツまたはスカートに必ず入れること。)
(6) 競技開始前にマナーチェックを行う。違反等があれば規律委員会で協議する。
(7) マナーチェックには、登録選手全員が参加するものとする。
(8) 開閉会式は、実施しない。表彰式は、表彰を受けるチームの選手全員が参加するものとする。(ユニフォームで)
(9) 別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン」を遵守する。
(10) Jアラート等警報時は、ただちにプレーを中止する。なお、中止した時点のプレーはカウントしない。試合再開時は、中止した得点で再試合を行う。
(11) 組み合わせについては、10月20日(火)以降に筑前地区中学校体育連盟ホームページにアップロードする。
(12) AEDの設置場所については、監督者会議で確認する。
- 8 参加資格 筑前地区中学校総合(新人)体育大会参加資格「特別規定」による。
- 9 表 彰 団体3位まで(男女各4校の表彰。上位3チームのみ県大会へ出場。)
- 10 申し込み 各区の専門部長は、10月20日(火)までに大会結果を送ること。さらに、10月30日(金)までに各学校の申込書の写し(職印あり)を集約しFAXにて下記まで申し込むこと。なお、出場校は申込書の原本(職印を押印の上)を大会当日に本部に提出すること。
大野城市立大野東中学校 〒816-0903 大野城市乙金台2-5-1
江口 秀和 TEL:092-503-5101 FAX:092-503-5183
- 11 専門委員 糸島:中村 香織(前原西) 糟屋:稲永 優子(須恵東)
筑紫:江口 秀和(大野東) 宗像:廣瀬 賢吾(自由ヶ丘)

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

1 参加者に関する留意事項

- (1) 各学校で「健康チェック表」（自宅で検温）を記入し、受付時に提出する
- (2) 発熱もしくは、体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権時は、会場に行かず、各学校の顧問に電話等で連絡する）
- (3) 体育館への入場は、3密にならないように学校ごとに時間をずらす
- (4) 外履きは袋に入れ、自分で管理し、下足箱は使用しない
- (5) 試合以外では、マスクを着用する
- (6) ゴミは全て持ち帰り、自宅で処分する
- (7) 自身の試合・役割（敗者審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅する
- (8) 階段やギャラリーの手すりには、触れない

2 大会役員に関する留意事項

- (1) 入場前に入り口付近で密にならないように、各学校の待機スペースを設定し、入場時間もずらす
- (2) 入場後に手先のアルコール消毒および非接触型の体温計による検温を実施する
- (3) 入場の際に、発熱もしくは体調が優れない場合は、入場を拒否する
- (4) 開閉会式は、実施しない
- (5) 試合終了後には、審判用紙をはさむバインダー、シャープペン、シャトルの筒、これらを入れたかごのすべてを消毒する
- (6) 消毒をする際は、ビニル手袋をつけて行う
- (7) 試合に影響のない程度に換気をした状態で大会を実施する
- (8) 適宜、会場の巡回を行い、手すりや電気のスイッチ、トイレなどの消毒を行う
- (9) コーチングシートは、設置しない
- (10) 密をさけるために、組み合わせやタイムテーブルの貼付をしない

3 監督・コーチに関する留意事項

- (1) コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う
- (2) ミーティング等においても3密を避け、極力屋外で行い、会話時にマスクを必ず着用するなどの感染防止対策に十分配慮する
- (3) コーチングシートは設置しないため、試合中はコート周辺で待機する

4 選手および応援の生徒に関する留意事項

- (1) サブアリーナでは、着替えのみとし、食事はしない
- (2) サブアリーナ・調理実習室は、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。また、定員が設定されている場合は遵守する
- (3) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席を移動しない
- (4) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う。席を移動しての応援はしない
- (5) ウォーミングアップは距離をあけて行う
- (6) コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する（移動の際は2m以上の間隔を空ける）
- (7) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに收容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）。
- (8) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- (9) 床の拭ききは、モップもしくは所定の用具を使用する
- (10) 汗をコート内やコートサイドに投げない
- (11) シューズの裏を手で拭かない
- (12) 意識的に試合中の声出しはしない
- (13) プレーヤー同士やコーチとハイタッチ、握手等の接触を行わない
- (14) 試合の前後には、各コートに備え付けてあるアルコールで手先の消毒を行う

5 審判員および係員に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、審判台は使用しない
- (2) 主審は、試合の前後にプレーヤーがアルコール消毒をしているか確認する
- (3) 主審は、支柱から最低でも1m離れて行う
- (4) 得点板の担当は、試合終了後には、備え付けのタオルを使用して得点板の消毒を行う
- (5) 試合で使用したシャトルは筒に戻さずに、そのままかごに入れる

6 観客に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、観客は参加校の監督およびコーチ、団体メンバーの選手、教職員のみとする（保護者、卒業生などの入場は禁止する）
- (2) 体育館への出入りの度に手先をアルコールで消毒する
- (3) 移動しての応援を禁止とし、割り当ての場所からの応援のみとする
- (4) 試合終了後、体育館を出る際は、本部にて準備したタオルとアルコールで、応援の際に使用した場所を消毒する